

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年7月3日(2008.7.3)

【公表番号】特表2008-500374(P2008-500374A)

【公表日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【年通号数】公開・登録公報2008-001

【出願番号】特願2007-515458(P2007-515458)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/551	(2006.01)
A 6 1 K	31/401	(2006.01)
A 6 1 K	31/4025	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/04	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
G 0 1 N	33/15	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
C 0 7 D	487/04	(2006.01)
C 0 7 D	405/12	(2006.01)
C 0 7 D	207/16	(2006.01)
C 1 2 N	9/99	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00			
A 6 1 K	31/551			
A 6 1 K	31/401			
A 6 1 K	31/4025			
A 6 1 P	17/00			
A 6 1 P	17/04			
A 6 1 P	19/02			
A 6 1 P	29/00			
A 6 1 P	43/00	1 1 1		
A 6 1 P	43/00	1 0 5		
G 0 1 N	33/15	Z		
G 0 1 N	33/50	Z		
C 0 7 D	487/04	1 5 1		
C 0 7 D	405/12			
C 0 7 D	207/16			
C 1 2 N	9/99			

【手続補正書】

【提出日】平成20年5月13日(2008.5.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

I C E を阻害する化合物と薬学的に受容可能なキャリアを含む、被験体における自己炎症性疾患を緩和、処置、または予防するための薬学的組成物。

【請求項 2】

被験体におけるクリオピリンが関係している周期性症候群、M u c k l e - W e l l s 症候群 (M W S) 、家族性寒冷自己炎症性症候群 (F C A S 、家族性寒冷蕁麻疹すなわち F C U としても知られている) 、家族性地中海熱 (F M F) 、慢性乳児神経性皮膚および関節症候群 (C I N C A S) (別名新生児期発症多臓器系炎症性疾患 (N O M I D)) 、 T N F R 1 関連周期性症候群 (T R A P S) 、高 Ig D 周期性発熱症候群 (H I D S) 、 ブラウ症候群、全身発症性若年性突発性関節炎 (スティル病) 、またはマクロファージ活性化症候群を緩和、処置、または予防するための薬学的組成物であって、該組成物が、 I C E を阻害する化合物と薬学的に受容可能なキャリアを含む、組成物。

【請求項 3】

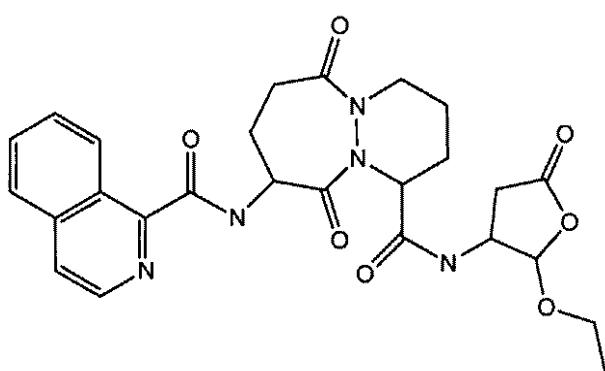
前記化合物が、 W O 0 0 / 5 5 1 1 4 、 W O 0 0 / 5 5 1 2 7 、 W O 0 0 / 6 1 5 4 2 、 W O 0 0 / 6 1 5 4 2 、 W O 0 1 / 0 5 7 7 2 、 W O 0 1 / 1 0 3 8 3 、 W O 0 1 / 1 6 0 9 3 、 W O 0 1 / 4 2 2 1 6 、 W O 0 1 / 7 2 7 0 7 、 W O 0 1 / 9 0 0 7 0 、 W O 0 1 / 9 4 3 5 1 、米国特許公開番号 2 0 0 3 / 0 0 9 2 7 0 3 、 W O 0 2 / 0 9 4 2 6 3 、米国特許公開番号 2 0 0 2 / 0 1 6 9 1 7 7 、米国特許第 6 , 1 8 4 , 2 1 0 号、米国特許第 6 , 1 8 4 , 2 4 4 号、米国特許第 6 , 1 8 7 , 7 7 1 号、米国特許第 6 , 1 9 7 , 7 5 0 号、米国特許第 6 , 2 4 2 , 4 2 2 号、2 0 0 1 年 4 月カリフォルニア州サンディエゴ (米国) での米国化学会 (A C S) 会議、 W O 0 2 / 2 2 6 1 1 、米国特許公開番号 2 0 0 2 / 0 0 5 8 6 3 0 、米国特許公開番号 2 0 0 3 / 0 0 9 6 7 3 7 、 W O 9 5 / 3 5 3 0 8 、 W O 9 7 / 2 2 6 1 9 、 W O 9 9 / 4 7 5 4 5 、および W O 0 1 / 9 0 0 6 3 のいずれかに記載されている化合物である、請求項 1 または請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記化合物が、 W O 9 5 / 3 5 3 0 8 、 W O 9 7 / 2 2 6 1 9 、 W O 9 9 / 4 7 5 4 5 、および W O 0 1 / 9 0 0 6 3 のいずれかに記載されている化合物である、請求項 3 に記載の組成物。

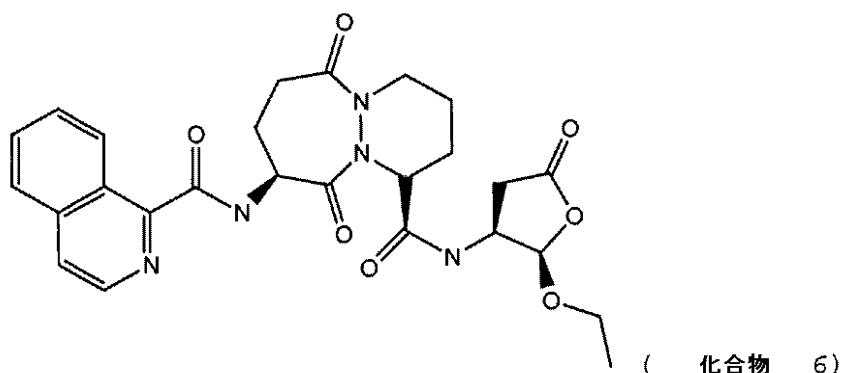
【請求項 5】

前記化合物が以下および個々の立体異性体であり：

【化 1】

該化合物は、以下を含む：

【化2】

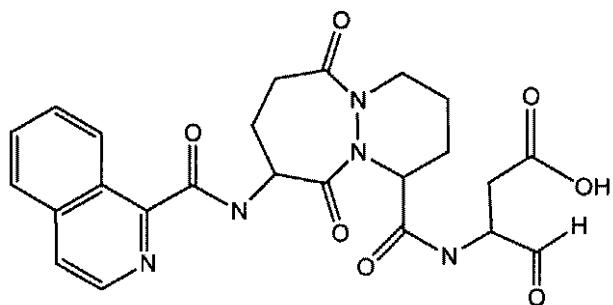


請求項1に記載の組成物。

【請求項6】

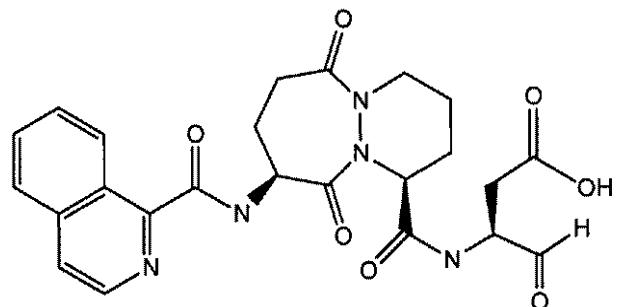
前記化合物が以下および個々の立体異性体であり：

【化3】



該化合物は、以下を含む：

【化4】

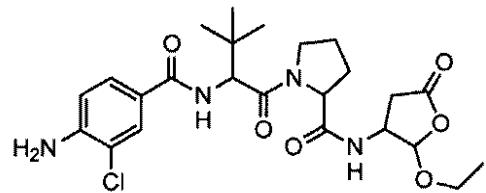


請求項1に記載の組成物。

【請求項7】

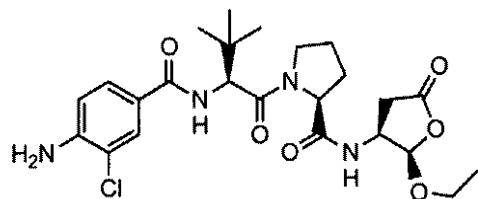
前記化合物が以下および個々の立体異性体であり：

【化5】



該化合物は、以下を含む：

【化6】



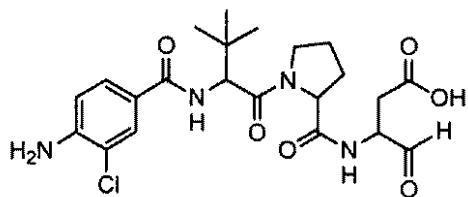
(化合物 7)

請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

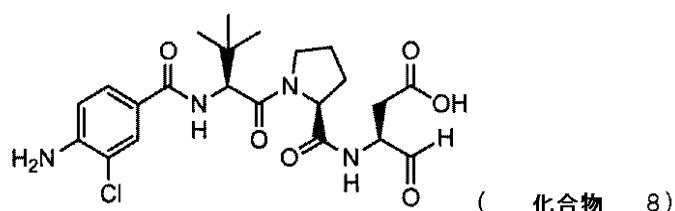
前記化合物が以下および個々の立体異性体であり：

【化7】



該化合物は、以下を含む：

【化8】



(化合物 8)

請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

被験体における自己炎症性疾患を緩和、処置、または予防するための化合物を同定するための組成物であって、該組成物が、ICEを阻害する化合物を含み、該組成物は、該被験体に投与され、該化合物での処置の前および後の該被験体におけるICEの阻害が比較される、組成物。

【請求項 10】

被験体における自己炎症性疾患を緩和、処置、または予防するための化合物を同定するための組成物であって、該組成物が、ICEを阻害する化合物を含み、該組成物は、該被験体に投与され、該化合物での処置の前および後の該被験体における該自己炎症性疾患についての生体マーカーが比較される、組成物。

【請求項 11】

前記生体マーカーは、インターロイキン-1、インターロイキン-6、インターロイキン-8、インターロイキン-18、血清アミロイドA、C反応性タンパク質、赤血球沈降速度(ESR)、ハプトグロビン、TNF、免疫グロブリン、フェリチン、白血球数、血小板数、およびヘモグロビンからなる群より選択される、請求項10に記載の組成物。

【請求項 12】

前記化合物が、以下：

- (a) 1回の投与について約300mg～約2,400mgの間；
- (b) 1回の投与について約600mg～約1,800mgの間；および
- (c) 1回の投与について約900mg

からなる群より選択される用量で前記被験体に投与されるのに適している、請求項1に記

載の組成物。

【請求項 1 3】

前記化合物が、以下：

- (a) 1日あたり約 2 m g / k g 体重～約 2 0 0 m g / k g 体重の間；
- (b) 1日あたり約 6 m g / k g 体重～約 1 0 0 m g / k g 体重の間；および
- (c) 1日あたり約 2 5 m g / k g 体重～約 7 5 m g / k g 体重の間

からなる群より選択される用量で前記被験体に投与されるのに適している、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 1 4】

自己炎症性疾患を有している被験体において I L - 1 、 I L - 1 8 、または他の生体マーカーを減少させるための組成物であつて、該組成物が、 I C E を阻害する化合物を含む、組成物。